福岡県米麦大豆生産改善速報 第３号

令 和 5 年 8 月 7 日
福　　岡　　県
福岡県米麦品質改善協会

普通期水稲の生育概況と対策

１．気象経過［太宰府アメダス］

	7月14日～7月24日（11日間）				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本　年	28.8	34.4	25.3	52	57
前年差(比)	+1.2	+2.2	+1.5	143%	39%
平年差(比)	+1.5	+2.6	+1.4	92%	52%

注）平年は1991～2020年の太宰府アメダスの平均値。

２．農林業総合試験場における生育概況

７月14～24日の平均気温は平年より1.5℃高く、降水量は平年比52%と少なく、高温少雨で経過した。７月25日現在において、「夢つくし」の草丈は平年より８%長く、茎数は17%少なかった。「元気つくし」の草丈は平年並～７%短く、茎数は平年並～10%少なかった。「ヒノヒカリ」の草丈は平年並～９%長く、茎数は農産部で７%少なく、筑後分場で７%多かった。「実りつくし」では、前８年と比べ、草丈は８%短く、茎数は平年並であった。また、主稈葉数は、「夢つくし」で0.3葉少なかったが、「元気つくし」以降の品種では平年並～0.3葉多く、生育はやや進んでいる。

３．当面の対策

１）水 管 理　中晩生品種で中干しを実施していないほ場では、有効茎が確保され次第、中干しを開始する。中干しは、田面に小さい亀裂ができる程度とする。生育旺盛なほ場では倒伏防止のため、強めの中干しを行う。中干し終了後は間断かん水を行い、根の活力維持に努める。

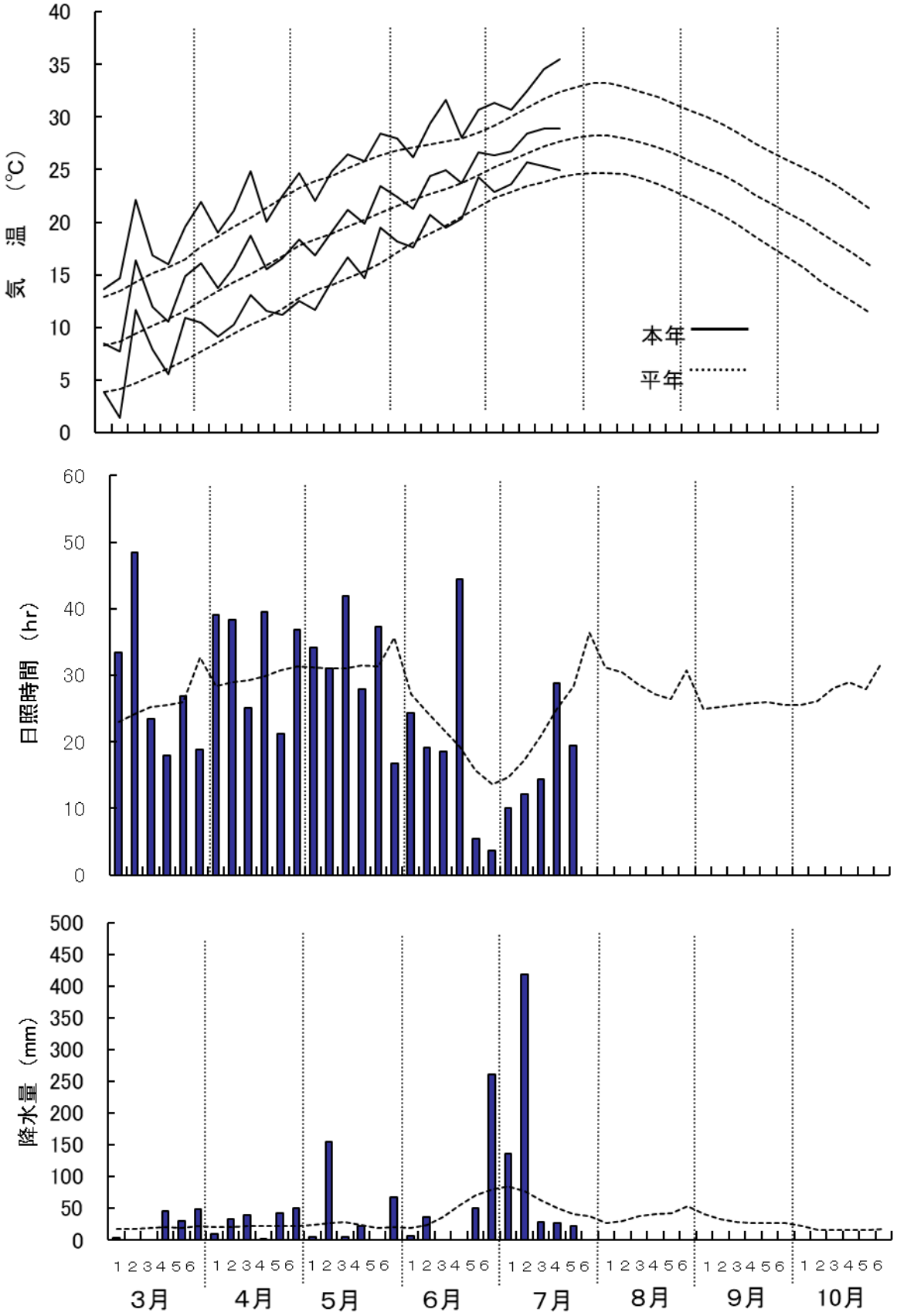
２）施　　肥　出穂期は、平年よりやや早いと予想されるため、穂肥は幼穂長や葉色を確認して適期に施用する。

３）病害虫防除　いもち病、ウンカ等の対策は、予察情報を参考に適期に行う。カメムシ対策として、畦畔草刈りは出穂10日前までに実施する。

４．農林業総合試験場における調査成績

調査場所	移植期	品種	年次	7月14日 草丈 (cm)	7月14日 ㎡当たり茎数 (本)	7月14日 主稈葉数 (L)	7月25日 草丈 (cm)	7月25日 ㎡当たり茎数 (本)	7月25日 主稈葉数 (L)	7月25日 カラースケール	7月25日 葉緑素計
農産部	6/9	夢つくし	本年	72	356	10.0	80	362	11.5	3.0	34.4
			前年比（差）	107	60	−1.5	105	64	−0.9	−1.0	−5.7
			平年比（差）	111	77	−0.3	108	83	−0.3	−0.9	−4.3
	6/21	元気つくし	本年	56	269	8.0	69	368	10.4	3.7	37.3
			前年比（差）	105	60	−1.7	96	89	−0.6	±0	−1.6
			平年比（差）	113	83	−0.6	102	90	−0.1	±0	−1.1
		ヒノヒカリ	本年	46	279	8.1	63	431	10.4	3.8	38.2
			前年比（差）	103	56	−1.7	98	84	−0.8	±0	−2.8
			平年比（差）	112	83	−0.6	109	93	±0	±0	−0.9
筑後分場	6/21	元気つくし	本年	47	233	8.3	66	524	10.7	3.8	39.9
			前年比（差）	92	50	−1.4	81	117	−0.5	−0.5	−4.0
			平年比（差）	98	57	−0.3	93	101	±0	−0.2	−1.2
		ヒノヒカリ	本年	43	289	8.7	61	648	10.8	4.0	40.4
			前年比（差）	97	55	−1.0	86	113	−0.4	−0.5	−3.2
			平年比（差）	103	64	+0.1	96	107	+0.1	−0.1	−1.1
		実りつくし	本年	50	246	8.8	64	564	11.2	3.8	38.0
			前年比（差）	97	48	−1.0	82	103	−0.1	−0.2	−3.9
			前8年比（差）	103	62	+0.2	92	98	+0.3	−0.1	−1.9

注）①平年値は過去10か年の平均値。
②この値は暫定値で、今後変更することがある。



2023 年（令和５年）夏作期間の気象（太宰府アメダス）